

平成 23 年

社 会

(40 分 80 点)

注 意

- 1 試験開始のチャイムが鳴るまで、表紙を開いてはいけません。
- 2 試験開始のチャイムが鳴ったら、まず解答用紙の決められた所に受験番号を書き、問題のページ数を確認してから始めなさい。
- 3 問題は 13 ページまであります。ページの不足や乱れがあったら、だまって手をあげなさい。
- 4 印刷のはっきりしていない所があったら、だまって手をあげなさい。
- 5 試験終了^{しゅうりょう}のチャイムが鳴ったら、すぐ鉛筆^{えんぴつ}を置き、解答用紙を表を上にして問題用紙の上に置きなさい。

問題 「平等」をかかげる現代社会では、身分制という制度を否定しています。しかし歴史をふり返ると、人類は長い間身分制にもとづいた社会を築いてきており、日本も例外ではありませんでした。「平等」と「身分」に関する次の文章を読み、設問に答えなさい。

日本社会の身分制というと、「士農工商」という言葉を思い浮かべる人が多いでしょう。しかし、「士農工商」とは「国中のすべての人々」といった意味合いで、身分を直接示すものではありません。①江戸時代の基本的な身分は、武家（武士）・百姓・町人であり、そのほかに公家・僧侶・賤民（百姓や町人からも差別された人々）などがありました。このような身分は、江戸時代以前の社会から存在したものです。

江戸時代以前の人々は、それぞれの身分に応じた職業に就き、それにとまなう負担を負わねばなりません。②服装や頭髪、住む場所も身分に応じて決まっており、自由に変えることはできませんでした。しかし、その一方で、負担にとまなう特権が認められていました。たとえば、③武家は兵役や警備を負担しましたが、その代わりに政務を担当し、名字の名乗り・帯刀を許されました。また、賤民は、人の嫌がる仕事を負担する代わりに、皮革業を独占的に行っていました。身分制社会は、身分に応じた人々の社会的分業によって成り立っていたといえます。

明治政府が行った「四民平等」政策は、このような身分制社会のあり方を解体しようとしたものです。明治政府の目的は、均しく国民に負担をかけることであり、身分制はこの目的をさまたげる要因と考えたのです。④こうして、人々は自由に職業・服装・頭髪や住む場所を選べるようになりましたが、⑤新たな義務が設けられました。

明治時代以降、日本に住む人々は、「四民平等」のもと同じ国民となりましたが、その中身は⑥男女の権利に差別があったように、決して「平等」とはいえませんでした。そのほか、⑦江戸時代まで「夷人」と扱われてきたアイヌや琉球（沖縄）の人々も、本土の人々と平等な扱いをされませんでした。しかしながら、⑧富国強兵を推し進め、発展をしていく日本において、差別の問題は重視されず、解決の方向に急速に進むことはありませんでした。このような不平等さは、敗戦まで完全に消し去ることはできず、戦前までの日本国民は決して均質な国民になれなかったのです。

戦後、「すべて法の下に平等である」とうたわれた⑨日本国憲法が制定されました。しかしながら、日本において人種・信条・性別・社会的身分などの違いによる差別がすべてなくなったわけではありません。また、どのような状況が⑩平等といえるのかの議論も必要とされています。

問1 下線部①に関して、日本において支配身分となったのは、武家（武士）・公家・僧侶でした。

(1) 武家と公家は政治に関わりましたが、僧侶は基本的に政治に関わらず、武家や公家の政治の安定を願い、仏に祈る役割を果たしました。僧侶はまた、仏教の教えを人々に広め、民衆の生活の安定も願いました。奈良時代に民衆に仏教を広め、東大寺の大仏造りにも貢献した僧侶は誰か、漢字で答えなさい。

(2) 江戸時代以前の日本では、長い間武家による支配が続きました。江戸時代以前の武士の動きについて記した説明ア～エの中から、正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア 12世紀半ばに、天皇や藤原氏のあとつぎ争いから京都で戦いが起きた。ここで活躍した平氏は、やがて朝廷の実権を握り、京都に幕府を開いた。

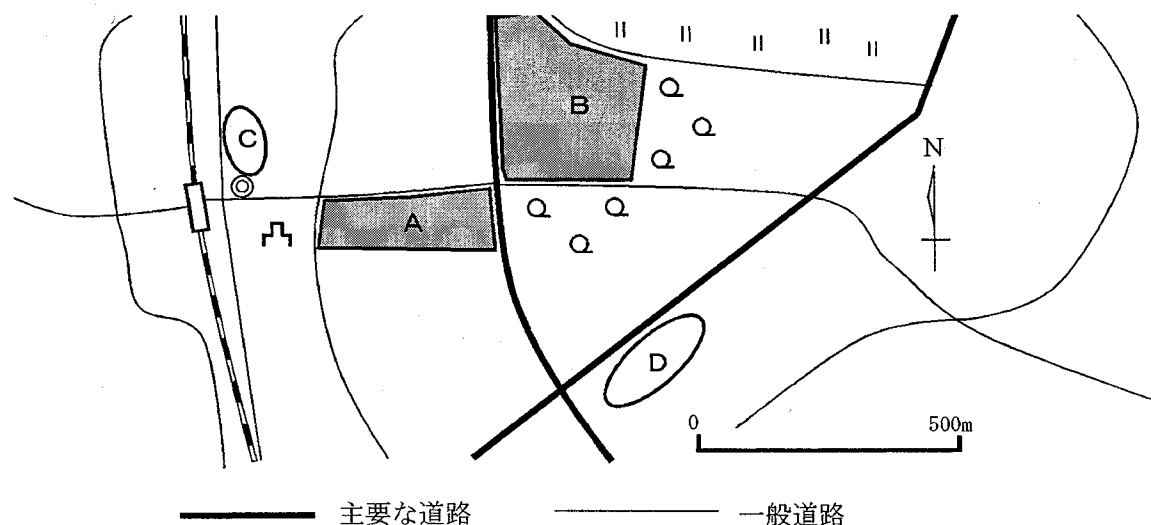
イ 源氏の将軍が3代で絶えると、執権の北条氏が鎌倉幕府の政治を行うようになった。これを見た朝廷は、北条氏を討つ命令を発し、これを滅ぼした。

ウ 鎌倉幕府が倒れると、北朝と南朝の二つの朝廷が争う時代になった。足利氏は北朝を支えて南朝と争い、足利義満のときに北朝と南朝は統一された。

エ 織田信長によって進められた天下統一事業は、家臣だった豊臣秀吉に継承された。秀吉は朝廷から摂政に任命され、各地の大名の勢力を押さえ、天下統一を果たした。

問2 下線部②に関して、昔の人々は身分によって住む場所が決められていましたが、現在の日本では、そのようなことはありません。ある地域の様子を調べるために作成された地図【図1】を見て、以下の設問に答えなさい。

【図1】



(1) 【図1】からわかることとして間違っているものを、ア～オの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア AとBの地域の間を通る主要な道路は、2つの地域の南で他の主要な道路と交差している。
- イ Aおよびその周辺の地域は、城下町として発達したといえる。
- ウ Bの地域の中には、市役所に行くのにAよりも短い道のりで行けるところがある。
- エ Bの地域から駅までの道のりは、一番近いところでおおよそ500mである。
- オ Bの地域の東側には、水田やくだもの畑が広がっている。

(2) 【図1】のCの地域とDの地域は、ともに住宅が多い地域ですが、それぞれの地域で多く見られる住宅は様子が違います。Cの地域にはマンションやアパートなど集合住宅が多いのに対して、Dの地域には庭の付いた一戸建ての住宅が多くあります。では、なぜDの地域にはこのような住宅が多いのでしょうか。【図1】を見てわかることから答えなさい。

問3 下線部③に関して、豊臣秀吉による「刀狩り」の結果、武家と百姓の身分が分離し、帯刀は武家のみに許された特権になったとされています。ところが、次の資料を見ると、江戸時代の百姓も、刀を指していたことがわかります。

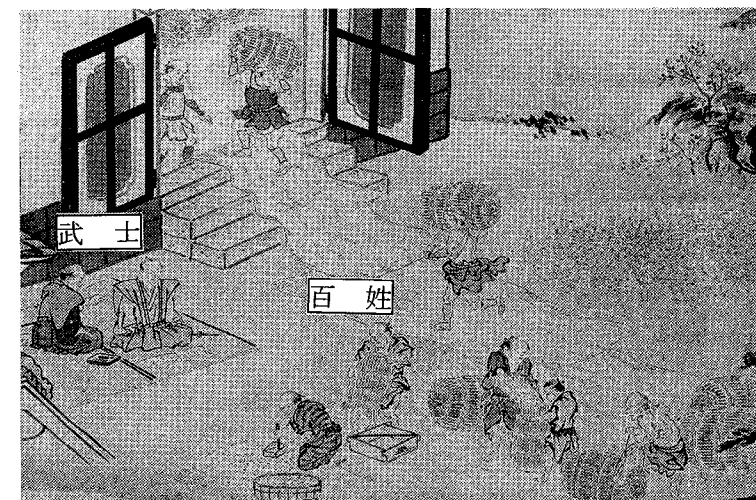
領内の町や村に住む町人や百姓が、大刀・大脇指を指すことは禁じる。大きいものはだめだが、ふつうの刀・脇指は構わない。(「尾張藩掟書」<1642年>より)

(1) それでは、秀吉の刀狩りの意図とは、どのようなものだったと理解できますか。次の「刀狩令」の一文と、【図2】をふまえて、考えられることを述べなさい。

【「刀狩令」第三条】

一 百姓は、農具だけをもって耕作に専念していれば、子々孫々に至るまで幸せに暮らしていけるであろう。…この旨を守り、その意向を十分に承知して、百姓は農耕・養蚕に精を出すべきである。

【図2】



(2) 次の資料は、一般的に「^{はいとうれい}廃刀令」(帯刀禁止令)とよばれるものです。これを見ると、明治時代以降、帯刀は職務中の軍人・警官・^{かんり}官吏(役人)に許されたことがわかります。これにより士族(旧武家身分の人々)は帯刀の特権を^{うば}奪われましたが、「^{ちようへいれい}廃刀令」は、20才以上のすべての男子に軍隊に入することを義務づけた「徴兵令」とも深く関係すると考えられます。その関係はどのようなものでしょうか。最も適当な説明を、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

今後、^{たいらい}大礼服を着用したとき、ならびに軍人および警察・官吏が制服を着用したとき以外は、帯刀を禁止する。この旨を布告する。ただし、^{いはん}違犯した者は、その刀を取り上げる。

- ア 軍人となった男子が帯刀することになったので、帯刀を士族だけに限る必要がなくなった。
- イ 軍人となった男子が帯刀することになったので、帯刀は士族の権利ではなくなった。
- ウ 軍人となった男子は士族となったので、帯刀させる必要が生じた。
- エ 軍人となった男子は士族となったので、帯刀させるのは危険になった。

問4 下線部④に関して、四民平等政策(身分解放)は、あらゆる身分の人々にとって必ずしもよいことばかりではなく、苦しみとなることもありました。それはどのようなことだと考えられますか。下線部④以前の問題文の内容をふまえて、述べなさい。

問5 下線部⑤に関して、国民の義務について記した説明ア～オの中から、正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 大日本帝国憲法では、^{しゅうかくだか}収穫高を基準に^{ちそ}地租という税を現金で納めることが国民に義務づけられた。
- イ 大日本帝国憲法で定められていた「国民の義務」については、日本国憲法でもすべて同様に定められている。
- ウ 日本国憲法は、すべての子どもに小学校、中学校に通う義務があると定めている。
- エ 日本国憲法では、小学校、中学校にあたる義務教育を^{むじよう}無償(無料)とすることが定められていたが、憲法を改正して高等学校の授業料も無償化された。
- オ 日本国憲法では、働くことは義務だけではなく^{けんりだ}権利だと定められている。よって政府は失業者に仕事を^{しやうかい}紹介する政策を行っている。

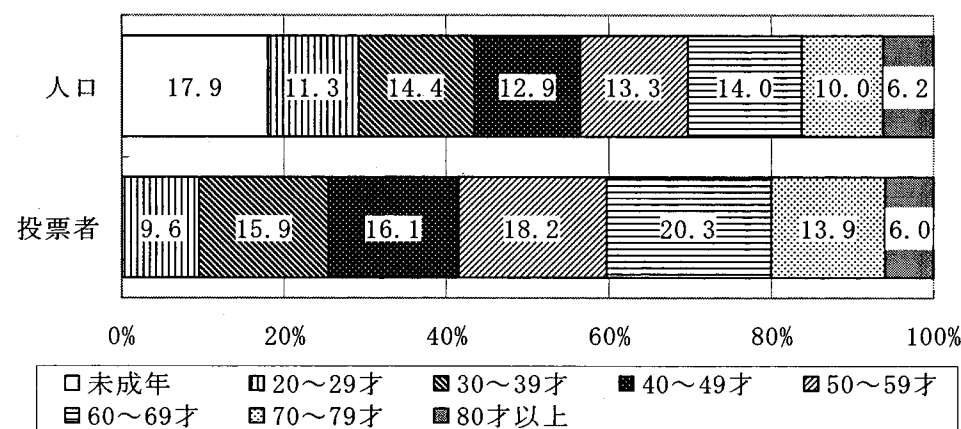
問6 下線部⑥に関して、次の設問に答えなさい。

(1) 明治時代以降の男女の権利について記した説明ア～エの中から、正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1925年には25才以上のすべての男子が選挙権を持つようになったが、女性の選挙権は一定額以上の税を納める人に限られた。
- イ 1925年には25才以上のすべての男女が選挙権を持つようになったが、立候補する権利は男子にのみ認められた。
- ウ 第二次世界大戦後に20才以上のすべての男女が選挙権を持つようになるまで、一定額以上の税を納める25才以上の男子にのみ選挙権が認められていた。
- エ 女性が選挙に立候補する権利は、第二次世界大戦後に日本を^{せんりよう}占領した連合国軍の政策の下、実現された。

(2) 戦後、多くの法律が男女平等を実現するために改正、制定されましたが、これには女性の政治参加が進んだことが大きく影響していると考えられます。同じように、誰が政治に参加しているかによって、政治が誰のために行われるかが決まってくるものが予想されます。これに関して、次の【図3】は、年齢層別の人口割合と、2009年に行われた衆議院総選挙で投票した人の年齢層別割合を比べたものです。この図からいえることとして正しいものを、ア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

【図3】 年齢層別人口割合・投票者割合 (2009年)



(国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」と総務省「第45回(2009年)衆議院議員総選挙年齢別投票者数調査」より作成)

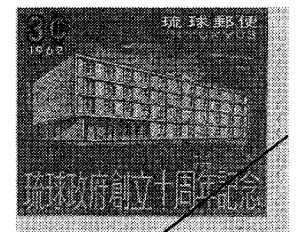
- ア 人口よりも投票者に占める割合が低い年齢層は20～29才のみである。これは20～29才の投票率が他の世代と比べて低いことが原因である。
- イ 0～39才が人口に占める割合と、39才までが投票者に占める割合とを比べると、投票者に占める割合は人口に占める割合の半分にも満たない。
- ウ 高齢化がすすむ現在でも、0～29才と60才以上が人口に占める割合はどちらも3割前後であるため、国家予算においても、学校教育や若者の就職支援のための費用と、高齢者のための年金・医療・介護の費用はほぼ同額になっている。
- エ 政治家が投票者に占める割合の高い年代に向けての政策を重視するならば、学校教育や就職支援といった若者向けの政策よりも、年金等の老後の生活のための政策を重視することになる。

問7 下線部⑦に関して、アイヌや琉球の人々は、江戸時代に「夷人」とよばれ、差別を受けていましたが、明治時代になるといっそう厳しくなりました。

- (1) アイヌや琉球の人々は、政府から日本本土の人々と同じような衣装・名前・言語を使うように強制されました。これは、アイヌや琉球の人々にとって自分たちの文化の否定を意味しました。なぜ政府は、アイヌや琉球の人々に日本本土の人々と同じような衣装・名前・言語を使うように強制したのでしょうか。考えられる理由を述べなさい。

- (2) 北海道には、アイヌ語で「非常に曲がった川」を意味する名称の川があります。この川の流域では、稲作が盛んです。その源は北海道の中央部で、そこから旭川を通り、札幌の北で日本海に注いでいます。この川の名称を漢字で答えなさい。

- (3) 右は、1962年に発行された「琉球政府創立十周年記念」切手です。沖縄に政府が作られた理由として正しいものを、ア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

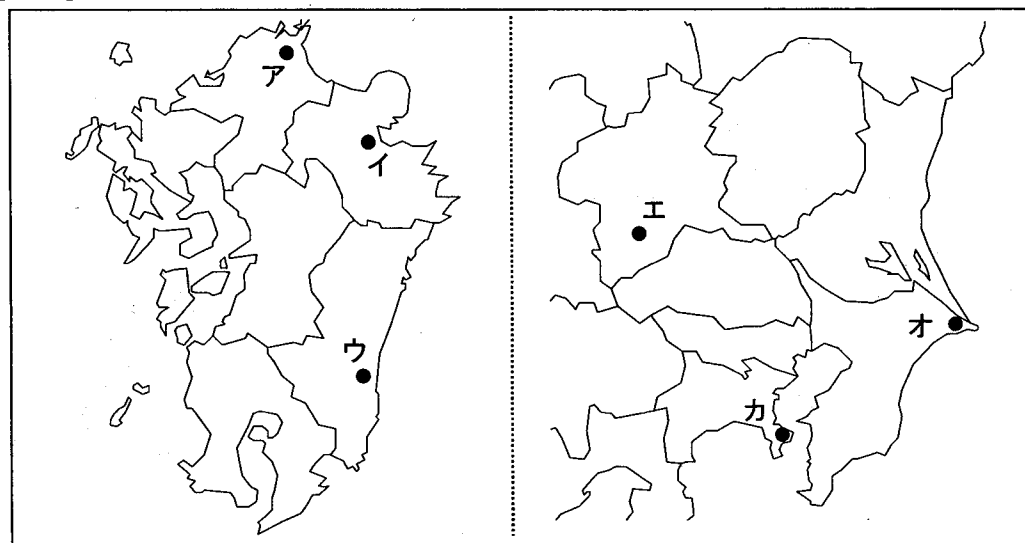


- ア 第二次世界大戦後の占領政策で、中央に集まっていた権力を地方に分散することが決まり、全国の都道府県に政府が作られたから。
- イ 第二次世界大戦で大きな被害をこうむった沖縄に対する特別な支援策として、沖縄以外の日本とは別の予算・法律が組まれたから。
- ウ サンフランシスコ平和条約により日本が独立しても、沖縄は引き続きアメリカの統治下に置かれ、その下部組織として現地政府が作られたから。
- エ 日米安全保障条約に基づき、すべての在日米軍基地が沖縄に置かれ、基地内の政治を担当するための政府が作られたから。

問8 下線部⑧に関して、日本は工業化を推し進めることによって、発展してきました。

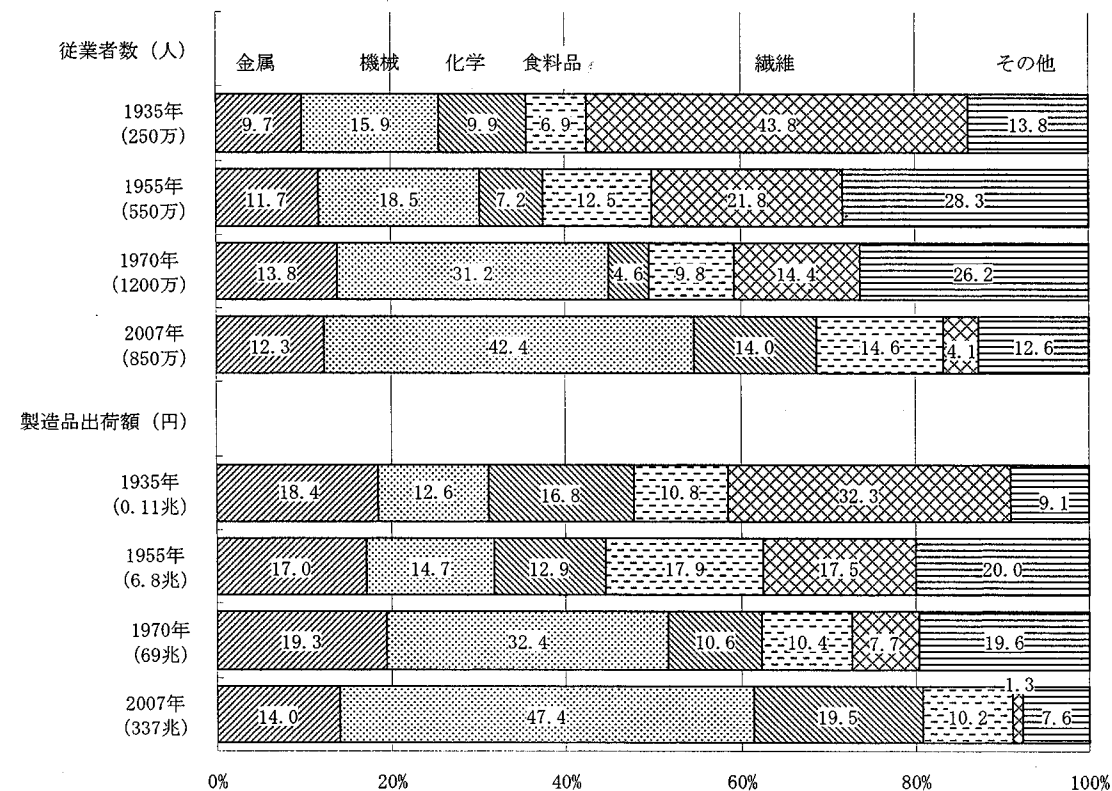
- (1) 「富国強兵」は明治期のスローガンでした。このうち「富国」に関連して、短期間での近代化に成功した官営工場の例が、Ⅰ. 九州の重工業と、Ⅱ. 関東の軽工業とに見られます。Ⅰ, Ⅱのそれぞれの工場は【図4】のどの場所にあるのか、記号で答えなさい。また、それぞれの工場名を漢字で答えなさい。

【図4】



- (2) 明治時代以降、日本の工業は急速な発展を遂げてきましたが、時代によって中心となった工業は異なります。【図5】は、それぞれの工業部門（金属、機械、化学、食料品、繊維、その他）について従業者数や製造額を示したものです。この【図5】から読み取れることのうち正しいものを、ア～オの中から1つ選び、記号で答えなさい。

【図5】



注) ここでは「その他」は軽工業に分類される。

(『データブック・オブ・ザ・ワールド』より作成)

- ア 日本の工業は、第二次世界大戦前から軽工業よりも重化学工業がさかんだった。
 イ 1955年の化学工業に従事する従業者の数は、1935年から比べて減っている。
 ウ 全体に占める食料品の割合は、従業者数・製造品出荷額のいずれにおいてもずっと減少している。
 エ 1935年において、製造品出荷額が最も多かったのは、生産に多くの人手が必要とらなかった繊維である。
 オ 2007年において従業者一人当たりの製造品出荷額が一番高いのは、化学である。

(3) 1980年代には、これまであまり工場が多くなかった東北地方や九州地方において、工場が増加しました。この時期にこれらの地域で増えた工場は、主にICを作る工場です。ではなぜ、1980年代に東北地方や九州地方でIC工場が増えたのでしょうか。以下のA～Cの資料をすべて活用して説明しなさい。ただし答える際には、製品の＜大きさ・値段・輸送＞の3点にふれること。

A ICとは

- ・電気機械の中に組み込まれる電子部品です。
- ・機械の心臓部にもなるとても重要な部品です。
- ・ICは比較的ひかく小さくて軽い部品です。

B 東北・九州地方のおもな空港の整備状況(1971～85年)

年	開港または移転した空港	かつそうろ 滑走路を延ばした空港
1971	熊本・大分	
1972	福岡・鹿児島	仙台・新潟
1975		長崎
1980		熊本
1981	秋田	新潟・山形
1983		はなまき 花巻

注) 空港は開港したあとも滑走路を延ばし、より大きな飛行機が離着陸できるようにすることによって、輸送量を拡大することがある。

(国土交通省ホームページより作成)

C 主な輸送手段(貨物)と輸送費

輸送手段	鉄道	せんぱく 船舶	航空
同じ距離あたりの1kgの輸送費(円)	20	12	210

(国土交通省ホームページより作成)

問9 下線部⑨の規定に関する説明として正しいものを、ア～オの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 国会が決めた法律や内閣が行う政治が、憲法に違反いはんしていないかどうかを判断できる裁判所は、最高裁判所のみである。
- イ 内閣総理大臣は、国会で最多議席を有する党の党首を選ぶ選挙で決定される。
- ウ 裁判官を裁判するのは、内閣の仕事である。
- エ 参議院で否決されても、衆議院の3分の2以上の賛成で内閣が必要とする法律を成立させることができる。
- オ 憲法を改正する場合は必ず衆議院を解散し、国民投票を行わなければならない。

問 10 下線部⑩に関して、「平等」を目指すにはいくつかの方法・方策があります。次の a～f を「平等」に対する考え方の似ているものどうしに分けた時、正しい組合せとなるものをア～オの中から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- a. 朝の通勤通学時間帯に、列車の一部に「女性専用車両」が設けられており、男性客が利用できなくなっている。
- b. ある中学校の体育祭では、男子と女子の混合で 100m 競走を行っている。
- c. 中村君のおばあさんは資産家で、駅前に広大な土地を持っていた。しかし去年亡くなり、土地を相続した中村君のお父さんに高額な税が課せられることになった。
- d. 小学生の山本君にとっても、会社の社長の高橋さんにとっても、消費税の税率は一律に 5 % である。
- e. 田中君のお父さんは、小林君のお父さんの倍の収入があるそうだが、小林君のお父さんより倍以上の税を納めている。
- f. アメリカのある州では入学試験に黒人を一定の割合で合格させることにしているため、たとえ白人より得点が低くても合格させていた。

<組合せ>

- ア 「a-b」, 「c-e」, 「d-f」
- イ 「a-c」, 「b-d」, 「e-f」
- ウ 「a-e」, 「b-c」, 「d-f」
- エ 「a-f」, 「b-d」, 「c-e」
- オ 「a-f」, 「b-e」, 「c-d」

平成23年

社 会 解 答 用 紙

問 1	(1)		(2)		問 2	(1)		
問 2	(2)							
問 3	(1)							
問 4	(2)							
問 5		問 6	(1)	(2)				
問 7	(1)							
	(2)		川	(3)				
問 8	(1)	I	記 号					工 場 名
		II	記 号					工 場 名
	(2)							
	(3)							
問 9		問 10						

受 験
番 号

社 会